

観光客の受入環境整備のための財源確保方策 に係る県の現時点での考え方

これまでの当協議会の議論の結果、今後5年間（2018～2022年度）で、県内の官民が行っていくべき受入環境整備事業の総額は、約188億円と見込まれている。

また、2023年度以降についても持続的に神奈川を訪問する観光客数を増やしていくためには、受入環境整備事業を継続的に実施していく必要がある。

さらに、神奈川がさらなる観光客の増を図り、国内外の競争に打ち勝っていくためには、プロモーション活動などもこれまで以上に強力に展開していくことが必要。

こうした今後の観光行政に係る財政需要の増に対応した財源をどのように確保していくのか検討することが必要と考えている。

そこで、観光行政の財源確保に係る国内外の事情に知見を有する有識者から参考意見を聴取するとともに、それについての協議会構成員の皆さんの意見交換をお願いしたい。

【参考】

神奈川県観光部の平成29年度当初予算の状況

（金額：千円）

区分	観光資源の発掘・磨き上げ		戦略的プロモーション		観光客受入環境整備		合計	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
観光企画課 （国内誘客）	87,940	22.8%	129,258	33.5%	2,489	0.6%	219,687	56.9%
国際観光課 （海外誘客）	24,000	6.2%	111,083	28.8%	31,203	8.1%	166,286	43.1%
合計	111,940	29.0%	240,341	62.3%	33,692	8.7%	385,973	100.0%